

基本情報

科目分類	専門科目	開講年次	2・3・4年
時間割コード	3H090	開講区分	第3クォーター
開講科目名	E S D演習II 1（国際人間科学）	曜日・時限	金5
主担当教員	松岡 広路	単位数	1.0
授業形態	演習	ナンバリングコード	H1HZ202

[担当教員一覧](#)**詳細情報**

<p>■授業のテーマ</p> <p>（ESDコース修了認定科目）</p> <p>ESDとは、あらゆる人が互いに連携・協働しながら持続可能な開発を実現する主体になるような仕組み（場・装置・活動）のことです。</p> <p>ESDコースでは、さまざまな社会セクターのなかでESDが立ち現れる仕掛けを作っていく「新しいタイプのリーダー」を育成します。</p>
<p>■授業の到達目標</p> <p>ESD演習 I にひきつづき、アクション・リサーチを探求します。ESDの現実を踏まえて、実践的研究・研究的実践の基礎を習得することを目標としています。</p>
<p>■授業の概要と計画</p> <p>ESD基礎A・ESDボランティア論・ESD論・ESD生涯学習論、および、ESD基礎B、ESD演習 I などのESD関連科目で学んできたことをまとめるとともに、フィールドワークやワークショップを通して、実践的に調査・分析・研究する。</p> <p>ESD演習 I でおこなったアクション・リサーチのデザイン化をさらに深めるべく、学生のイニシアティブの高い授業形式をとります。</p> <p>※他学部のESD演習メンバーとの交流・発表会である「ESD交流会（2月初旬）」で活動の発表を行います。</p>
<p>■成績評価方法</p> <p>平常点・レポート。</p>
<p>■成績評価基準</p> <p>成績は90点以上をS（秀）、80点以上90点未満をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とする。</p>
<p>■履修上の注意（関連科目情報）</p> <p>ESD演習 I -1・2、II -1・2（国際人間科学）を連続履修していること。</p> <p>また、ESDコースの他の科目（ESD基礎A、ESDボランティア論、ESD論A/B、ESD生涯学習論A/B）のうち、4単位を習得しておくこと。</p>
<p>■事前・事後学修</p>

<p>適宜指示する。</p> <p>本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。</p>
<p>■ 学生へのメッセージ</p>
<p>ESDをより深く知りたい方向けのESD関連授業の決定版ですので、ぜひ通年で履修してください。途中履修や一部履修は、学習効果をかなり下げることになります。</p>
<p>■ 教科書</p>
<p>授業中に指示する。</p>
<p>■ 参考書・参考資料等</p>
<p>授業中に指示する。</p>
<p>■ 授業における使用言語</p>
<p>■ キーワード</p>
<p>アクションリサーチ ワークショップ フィールドワーク 持続可能な開発 SDGs運動</p>
<p>■ 参考URL</p>

担当教員一覧

教員	所属
松岡 広路	人間発達環境学研究科
清野 未恵子	人間発達環境学研究科